

事務事業名		男女共同参画推進サポーター育成事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	07 ともに支え合う地域づくりの推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成15 年度～)	
	基本事業名	02 男女共同参画の促進		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		大船渡市補助金等交付規則、海外派遣研修事業参加費補助金交付要綱		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 11 09	
所属	部課名	企画政策部企画調整課		事務事業区分	
	課長名	新沼 徹		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1～4以外)	
	係名	男女共同参画係	電話	0192-27-3111	
	担当者	佐々木 由紀子	内線	214	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・地域における男女共同参画の機運の醸成と活動の促進を図る目的で、岩手県男女共同参画センター主催の「男女共同参画サポーター養成講座」の受講者を募集するとともに、受講者に対して旅費を支給し、参加を支援している。 ・研修修了者には、いきいき通信編集委員や大船渡市男女共同参画審議会委員、あるいは各種講座講師等、市及び地域での男女共同参画事業等に参画してもらう。 ・平成29年度末で、市内在住の県認定男女共同参画サポーターは24人。					
全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

男女共同参画サポーター養成講座を1人の市民が受講したが、職場から交通費が支給されたため、市からの支援はなし。

今年度計画(今年度計画している主な活動)

男女共同参画サポーター養成講座に市民を派遣する。修了後は、各人の地域活動に生かしてもらうとともに、各種審議会等委員や男女共同参画講座講師等を担ってもらう。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

研修参加者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

男女共同参画推進のための活動をしてもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

男女共同参画が実践されている。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 派遣費用	円
イ 研修内容の報告機会設定数	件
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 当該年度の研修参加者数	人
キ 延べ研修参加者数	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 市の男女共同参画事業に関わった研修参加者数	人
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	55	20	0	88	88	88
			事業費計 (A)	千 円	55	20	0	88	88	88
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時 間	16	16	10	16	16	16
			人件費計 (B)	千 円	64	64	40	64	64	64
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	119	84	40	152	152	152
⑤活動指標	ア	円	55	20	0	88	88	88		
	イ	件	1	1	1	1	1	1		
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	2	2	1	2	2	2		
	キ	人	21	23	24	26	28	30		
	ク									
⑦成果指標	サ	人	15	14	17	17	19	21		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0360	事務事業名	男女共同参画推進サポーター育成事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成14年度に開催された女性団体主催による市政懇談会において、男女共同参画海外派遣研修参加者への支援を要望されたことがきっかけとなった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・平成15年度に「海外派遣研修事業参加費補助金交付要綱」を定め、県が実施する海外派遣研修に要する負担金の半額以内を補助することとした。
・「男女共同参画サポーター養成講座」は、県が平成12年から、地域の男女共同参画推進を目的として年間6～7日間の講座を開催してきたもの。平成21年度からは、従来の養成講座に加え、サポーター認定者を対象とした上級講座(3日間)も開始された。
・平成20年4月に、サポーター認定者が中心となって男女共同参画「うみねこの会」を設立し、子育てフォーラムや市民シンポジウムの開催等、男女共同参画推進事業を展開している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
県主催の男女共同参画サポーター養成講座について、受講者からは、男女共同参画の基礎理論や先輩サポーターの活動事例等、さまざまな分野において総合的な学習ができたと好評である。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 男女共同参画を推進するためには、市民、事業者、行政が一体となって取り組む必要がある。市の男女共同参画施策の推進を図るためのサポーターを育成することは、男女共同参画の推進に結びつくものであり、政策体系との整合が図られる。
	② 公共関与の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡市男女共同参画推進条例第14条「市は、市民等の男女共同参画についての理解を促進するために必要な広報活動等を行うよう努めるものとする。」との規定に基づき実施するものである。男女共同参画を推進するうえで、より多くの市民の理解と協力が不可欠であり、サポーターとして、市が関連事業に参画していただける人を育成することは、公共性が高く、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 本事業を通じて、研修参加者には、男女共同参画に関連した各種事業への参加、協力を期待しているものであり、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 男女共同参画センターが実施する研修事業であり、講座受講者は、男女共同参画についての理解を深めるとともに、市や地域で活躍している人もおり、成果に有効である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☒ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 男女共同参画センターが実施する研修事業への参加促進が妨げられることにより、男女共同参画について深く理解し、地域で活動する意欲を持った人材が増えず、市の男女共同参画が推進されなくなることから、廃止・休止できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 受講者に対する交通費のみの支給であり、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 講座受講者の募集、主催者への推薦、受講者への交通費支給等定型的な業務であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市広報紙等を通じて広く参加者を募集するとともに、サポーター養成講座受講後、男女共同参画推進のための活動を行ってもらうことから、受益機会、費用負担ともに公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	男女共同参画推進における協働の担い手を得るための重要な事業であり、一定の成果をあげている。 今後においては、受講者(修了者＝認定サポーター)が活躍する機会を積極的に創出するよう配意すべきである。